

令和7年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
重点プロジェクト				
総合戦略		ふじみ野市における安定した雇用を創出する		
主管課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者		船津 誠
		評価日		令和8年6月2日
関連課		協働推進課、文化・スポーツ振興課、環境課、社会教育課		
目標		高齢者が知識や経験を生かしながら、地域社会の中で趣味の活動やボランティア活動、就労などを通じて積極的な役割を果たし、生きがいを持っていきたいと健やかに暮らせる環境づくりを進めます。		
施策目標の実現に向けた取組		(1) 趣味やボランティア、交流活動の促進 ○高齢者が地域で生きがいを持って暮らせるよう、スポーツ・レクリエーション・社会参加・世代間交流などを促進します。 ○高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を様々な分野で生かし、ボランティア活動や地域づくりなどを通じて積極的に活動できる環境を整備します。 ○高齢者の閉じこもりを防ぎ、積極的に地域で活動できるよう、移動手段の確保を図ります。 (2) 就労機会の拡充 ○高齢者の就労について中心的役割を果たすシルバー人材センターと連携し、就労相談や就労機会の拡充に努めます。		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	シルバー人材センター会員数【総合戦略】							
		説明	会員数は令和6年度より16人増の1,928人となった。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	2,200	2,250	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500	
		実績値	1,912	1,928						
	指標2	指標名	高齢者の施設利用者数（おおい老人福祉センター）							
		説明	老人福祉センターの延べ利用者数は、44,436人で令和6年度より3,296人増加した。昼びんやセンターで実施する講座等の参加者の増加等により、新規登録者や来所者が増えている。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	40,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	
		実績値	41,140	44,436						
	指標3	指標名	お出かけサポートタクシー利用者数							
		説明	利用者の利便性の向上を図るため、令和6年度から補助上限額を600円から800円に増額し、延べ利用者数は令和6年度より872人増加した。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	17,500	18,000	18,500	19,000	19,500	20,000	20,500	
		実績値	15,835	16,707						
	指標4	指標名	介護支援ボランティアの登録者数							
		説明	数年、登録者数が微増傾向であったが減少に転じた。新たに障がい及び子育て分野の受入施設等を増やすことで登録者数の拡充に努めている。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	260	270	280	290	300	310	320	
		実績値	222	208						
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	124,182	134,984	144,537	0	0	0	0
	人件費	27,757	31,097	31,322	0	0	0	0
収入	特定財源	849	2,058	1,852	0	0	0	0
	一般財源	151,090	164,023	174,007	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の進捗管理及び第10期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定	介護保険等運営審議会（年間3回）において、第9期計画の進捗管理及び第10期計画策定に係る審議を行い、第10期計画策定に係る各種調査を実施し、分析を完了した。	高齢者保健福祉計画推進事業
取組②	【総合戦略】 高齢者の就労機会の拡充	シルバー人材センターの会員増加につながる活動の周知等を行った。	シルバー人材センター支援事業
取組③	お出かけサポートタクシーの事業の実施	市報及び市社会福祉協議会が発行する高齢者情報誌「福寿草」、市庁舎等のデジタルサイネージ等の活用により事業の周知を図った。また、令和8年度から協力事業者（1事業者）の撤退に伴う調整や事業継続に向けた検討を行った。	長寿推進事業（一部）
取組④	大井総合福祉センターの適正な運営	各種事業の実施により、高齢者の健康づくり及び介護予防に取り組んだ。テレビゲームやモルックの充実等人気のある取組や事業、設備の充実を図った。また、介護予防についてリハビリ専門職から学ぶ運動教室が好評であった。	大井総合福祉センター管理運営事業
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき実施している事業はおおむね順調に進められている。
順調	お出かけサポートタクシーは、さまざまな媒体、機会を活用して事業の周知を図った結果、延べ利用者数の増加につながったが、実施事業者が1事業者となったことで、これ以上の事業の拡大・充実には難しい状況であり、今後の高齢化で対象者が更に増えていくことが想定される中、対象者の見直しや移動支援や交通施策と併せて制度を見直す必要がある。
行政資源の活用	
適切	大井総合福祉センターでは、市内西側地域の介護予防の拠点として整備した「ふじみんぴんしゃんホール」での事業実施が定着し、順調に介護予防に取り組む人を増やしている。また、令和6年9月にセンター3階に「地域包括支援センターつるがまい」を移転したが、大きな混乱はなく、市民の利便性向上及び相談件数の増加につながっている。今後も高齢者の健康づくり、介護予防の推進を図る必要があるため、更なる利用者の獲得への方策や利用者のニーズに合った事業、施設展開を検討していく。
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	